

令和3年度
教科名等

校内科目名	学習指導要領 の科目名	対象学年	対象クラス	単位数	分類	予定時数
総合的な学習の時間	総合的な学習の時間	3	A B C D E F	1	必修	35 時間

教科担当・教材等

授業担当者名	北林 峻、山代 水緒、清水 昌彦、松坂 勇志、遠山 久也、鈴木 誠士
授業形態	講義・演習・講演等
教科書	自校作成教材を使用する。
使用教材等	課題研究メソッド START BOOK,啓林館

科目の目標・内容等

学習目標	進路に関する学習を中心に、今後の生活に必要な総合的な能力を養う。
学習における 留意点	主として進路活動において、様々な課題を主体的に組織的に学習するよう指導する
予習・復習	なし
評価方法	「よりよく問題を解決する資質や能力」「学び方やものの考え方」「主体的、創造的、協同的に取り組む態度」及び「自己のあり方生き方」等について実現状況を評価するとともに、各教科の評価の観点との関連をはかりながら、「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」を総合的に判断する。

年間授業計画

学期	単元・授業内容	学習の重点	評価の観点
1	「総合」オリエンテーション ブックレット「サクセス」研究 入試方法研究	総合の年間計画の説明 大学進学を目指した進路学習	生徒が自ら調べ学習を行うなど主体的に活動している。
2	各模試への取組 受験スケジュールの策定 消費者教育の取組	各模試にあたっての事前・事後指導 面談などで受験スケジュールの確認 消費者教育講演の実施	生徒が自ら調べ学習を行うなど主体的に活動している。
3	大学受験における事前・事後指導 「総合」の自己評価	受験の注意、願書提出から受験後の指導の実施 総合における自己評価を行う。	生徒が自ら調べ学習を行うなど主体的に活動している。 1年間の活動を振り返り、自己評価を適切にすることができる。

※生徒の理解度や担当者の工夫により進度が変わるため、必ずしも計画どおりに展開するものではありません。